

第5章 北区が目指す公共交通の将来像

前章までに整理されたこれまでの取り組みの評価、課題を踏まえ、上位計画である「にいがた都市交通戦略プラン」及び同計画の公共交通分野の実施計画である「新潟市地域公共交通網形成計画」の基本的な方針に基づき、目標及び基本方針を定めました。

1. 目標

区ビジョンの将来像である「自然・活力・安らぎにあふれるまち 一住みたくなるまち 北区一」を目指し、地域との協働のもと、利便性があり持続可能な生活交通網の構築を図ります。

2. 基本方針

①公共交通を利用しにくい地域への対策を検討します

- ア 公共交通を利用しにくい地域における、利用ニーズの調査と分析を行い、各種社会実験の是非を検討します。
- イ 目的バスと連携し、多様な移動需要に対応します。

②既存の公共交通網を活かし、わかりやすく、使いやすくします

- ア 区バス・住民バスの利用実績の調査と分析を行い、実情に即した運行計画とします。
- イ 「わかりやすく、見やすく」を目指し、区公共交通についての情報発信を行います。

③持続可能な公共交通を地域とともに考えます

- ア 住民バス団体等や地域コミュニティと持続可能な公共交通を検討します。
- イ 区内交通関係者と情報共有及び意見交換を実施します。